

理数科模擬講義

平成28年7月23日(土)

講師 東北大学工学部電気情報物理工学科 教授 藤掛 英夫先生

演題 薄くて軽く、曲げられる夢のディスプレイ
～情報化社会を先導するキーデバイス～



7月23日(土)、東北大学工学部から藤掛英夫教授をお招きして、2年理数科と3年生の希望者を対象に「東北大模擬講義」を実施しました。

スマートフォンやテレビに使われている液晶ディスプレイは、近い将来、薄くて軽く、曲げられるように進化し、貼る、吊す、身につける、包むことができるようになります。

講義では液晶の定義、液晶ディスプレイの原理、フレキシブルディスプレイの構造やしくみなどを分かりやすく説明していただきました。ディスプレイを指で押して曲げている実際の映像など研究の最先端の内容で、とても興味深い講義でした。

また、「答えのある問題を解くのが高校。大学は答えのない問題に挑戦するところ。または、問題を見つけるところ。」という言葉が印象的でした。大学における研究の姿勢を知ることができました。

東北大学や工学という学問についても詳しくお話しいただき、進路選択にも大いに役立つ内容でした。

生徒の感想より

- *よく映画に出てくる未来の道具が再現されているようで、とても興奮した。1秒でも早く世界に広まることを願っている。
- *今回、フレキシブルディスプレイについての講義を聞いて、何かを発明するときには、そのときの社会をよく知ることが欠かせないと思った。必要とされている物を見つけて、実現できるように新しい分野へ挑戦していくのは勇気の必要なことだけれど、そういうことができる人になりたいと思う。
- *まだ誰もなし得えていないことを研究して、実現に近づけていくということはとても勇気のいることだと思います。今、課題研究をしていく中で、着目点や問題点を見つける大変さは少し経験しています。これからの人生でも答えがないことはたくさんあると思いますが、挑戦する気持ちを大切に頑張りたいと思いました。
- *工学部は楽しそうだった。東北大のオープンキャンパスに参加するのが楽しみである。